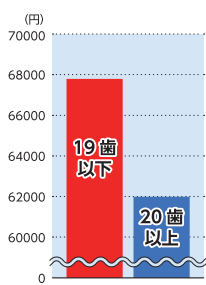


見た目だけでは わかりません！

口の写真に書かれている数字は歯周ポケットの深さです。
1～2mmほどが健康な状態です。
レントゲン写真を見ると、真ん中の赤囲み部分（口の写真の6mmの部位）は**骨を失っていることがわかります**。
中等度の歯周病と診断されました。

資料提供：愛知学院大学短期大学部 稲垣幸司教授

歯数と歯科医療費



年間で7万円以上の差が見られました

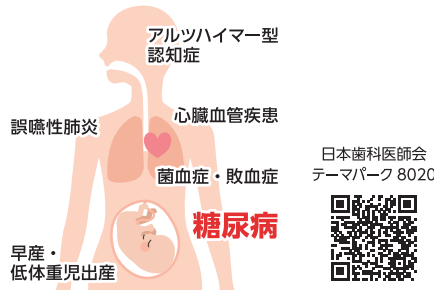
50代～70代で20歯以上ある人と19歯以下の人で1ヶ月の歯科医療費を比較すると、20歯以上ある人では歯科医療費が低くなることが報告されています。

出典：歯周炎病名による現在歯数と1ヶ月歯科医療費との関係 2,231,983人のデータ (NDBによる検討の改変) (恒石美登里、日本医療管理学会誌、2016年)

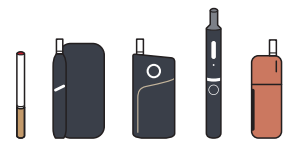
全身疾患への影響

口の中の細菌が全身に影響します

糖尿病をはじめとした全身疾患との関連が明らかになってきています。



喫煙のリスク

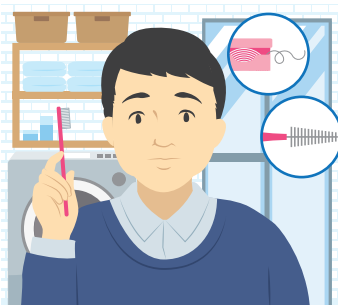


歯周病の
発症リスク UP!
進行リスク

紙巻タバコ・加熱式タバコ

どちらも非常に多くの有害物質が含まれており、全身のみならず、口への悪影響も多大了。

歯周病予防の“決め手”は毎日のお手入れと定期受診



セルフケア

歯科医師や歯科衛生士に指導してもらったことを自分で行う歯のお手入れ



プロフェッショナルケア

歯周ポケットの内部のクリーニングやブラッシング指導など



自分の歯が多く保たれていると、健康な状態で長生きできることがわかっています。

定期的に歯科検診を受け、しっかり噛んで食べられる歯と口を維持することがあなたの未来をつくります。

人生のパートナー、かかりつけ歯科医を持ちましょう